

# 感染症発生状況

平成30年7月26日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成30年7月17日（火）～7月20日（金）の定点における発生状況をお知らせします。  
定点23園の対象人数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 397名

1日あたりの延べ欠席者数 99名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数68名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

症状では **熱（209名）**、咳・鼻水（40名）、下痢・腹痛（24名）、発疹（11名）

疾病ごと **とびひ（15名）**、気管支炎・肺炎（11名）、胃腸炎（11名）、流行性角結膜炎（6名）

**各種感染症が少しずつですが流行しています。**

**即ち所謂カゼ、RS、ヒトメタニューモ各ウイルス感染、ロタウイルス感染、おたふくかぜ、流行性角結膜炎などです。夏特有のとびひ、手足口病に注意ください。**

## 【症状別の発生状況】

とびひ 厨川，河北，都南地域で増加しました。

気管支炎・肺炎 厨川，盛南地域で減少しました。河北，河南地域で増加しました。

胃腸炎 玉山，河北，盛南，河南地域で減少しました。厨川地域で増加しました。

流行性角結膜炎 河北地域で減少しました。都南地域で増加しました。

## 【県の状況（7/9～7/15）】

RSウイルス（RSV）感染症は、急増しました。例年、流行は夏から始まり秋にかけて患者が急増します。流行の開始が早まっています。地区別では中部、奥州及び宮古地区からの報告数が多く、年齢層別では報告すべてが2歳以下です。症状は、軽度の風邪症状から重症の細気管支炎や肺炎まで様々ですが、6か月未満では重症化することが多く注意が必要です。

手足口病は、釜石地区で5月下旬から報告数が多くなっており、2週続けて警報値（定点あたり患者数5人）を超えました。髄膜炎や脳炎等を併発する場合がありますので、頭痛、嘔吐、高熱が続く場合は医療機関の受診が勧められます。

伝染性紅斑（リンゴ病）は、中部及び宮古地区で4週続けて警報値（同2人）を超えました。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】